

変えてはならない 人がある。

安定した市民生活を考えるとき、ただやみくもに「変えればいい」という発想は大変危険です。

一貫した信念のもと、情勢に合わせた変化を付けることにより、皆様の安全・安心が守られます。

私たちは、途切れることのない市政発展のために、絶対に「変えてはならないもの」があると思います。

それは、「市民が主役」の市政です。

それは、「対話と融和で未来を拓く」ことです。

それは、「みんなで創る新たな未来」です。

新型コロナ感染症を乗り越え「新しい伊東スタイル」に挑戦するために、絶対に「変えてはならないもの」があり、私たちの未来を委ねるために、絶対に「変えてはならない人」がいます。

こんな時だからこそ、今の流れが滞ることのないよう、更なる伊東市発展のために「有言実行！みんなとともに」全力で取り組む小野達也を心から応援します。

新しい伊東スタイルへの
挑戦！

私たちは **おの たつや** を応援しています。

小野達也

「新しい伊東スタイル」への挑戦

2期目の約束

- *「今は命を守る」を最優先に考え新型コロナウイルス感染症対策を実行し、同時に地域経済が深刻な打撃と様々な影響が出ていることから、徹底して景気対策、事業者支援、雇用維持など、この局面を乗り越えるために迅速に対応します。
- *現在の情勢や政策などにより観光産業が大きく変化している今だからこそ、いち早く伊東市の観光資源や温泉文化の蓄積を活かした伊東観光スタイルを打ちだし、新たな観光地として再構築します。
- *団塊の世代が75歳を迎える2025年問題を控え、医療・福祉・介護等専門職の人材確保と若者の就業支援を図るとともに、誰もが安心して子どもを産み、子育てを楽しめる環境づくりに取り組みます。
- *世代、性別、地域の隔てなく皆さんの意見を伺うタウンミーティング、未来ビジョン会議、市長への手紙事業などを継続実行し、市政への反映、行政対応のスピードを加速度的にアップし、より速く皆さんの思いを形にします。

小野達也が「新しい伊東スタイル」構築に挑戦するため
これからの4年間に取り組んでいく具体的な政策をお示しします。
すぐに実行すること

1 誰もが安全・安心に暮らすことのできるまちにします。

- ◎通学路等の危険個所に防犯灯や防犯カメラを設置します。
 - ・PTAや市政モニター会議でのご要望にお応えいたします。
- ◎行政区・自治会等が設置する防犯カメラに特化した補助制度を創設します。
 - ・タウンミーティングや区長会からのご要望にお応えいたします。
- ◎高齢者の見守りを強化します。
 - ・家庭ごみの搬出が困難な方を対象に、職員が直接ご自宅にごみ収集に出向き、ご希望の方にはお声掛けを実施する「ふれあい収集」を拡大します。
 - ・防犯カメラを多目的に活用し、高齢者の屋外での安全を見守ります。



2 夢と希望を抱くことのできる学校生活を支援します。

- ◎中学校入学時に必要な物品購入費を助成します。
 - ・保護者からのご要望、市議会でのご意見にお応えし、子育て世帯の負担を軽減します。
- ◎中学校制服のスカート・スラックスを選択できるようにします。
 - ・生徒の多様性、価値観を尊重するとともに、防寒、防犯対策を推進します。
- ◎高校生、大学生に対する奨学金制度の支給対象を拡大します。
 - ・奨学金事業（現行制度→高校生等3万円／月・大学生等5万円／月を上限に貸与し、条件により返還金1/2免除）の予算を増額し、より多くの生徒学生の就学を支援します。

3 地域の魅力を積極的に発信し、ブランドイメージの向上を目指します。

- ◎You Tube「たっちゃんねる」を開設します。
 - ・本市のブランドイメージの確立を図るため、市内外にあらゆる情報を発信します。
- ◎移住された方々を積極的にフォローアップします。
 - ・移住希望者に対しての相談会、現地ナビゲート事業を引き続き実施することに加え、移住された方からの相談窓口を充実させ困りごとの解消に努めるとともに、移住された方々からのご意見を施策に反映していきます。



実行に向けて準備していくこと

1 子育てのための施策

- ◎幼児用遊具と駐車場、トイレを完備した公園を整備します。
 - ・子育て世代から要望の多い、だれもが安心して遊ぶことのできる屋外公園、雨天時にも利用できる屋内施設などを設置します。
- ◎幼稚園で給食を実施します。
 - ・保護者からの要望にお応えし、安全安心でおいしい給食を提供します。



2 高齢者のための施策

- ◎70歳以上の方にプレミア率100%の「ゆうゆう応援クーポン」を販売します。
 - ・高齢の皆様が積極的にクーポン券を利用することで、地域の中でいきいきと健康に暮らしていただくとともに、市内小売店舗等の消費を喚起します。

3 若者の定住化促進のための施策

- ◎若者が魅力を感じ、住んでみたいまち、住んでいたいまちをつくります。
 - ・買い物しやすい商店街、深夜営業のカフェ、休日には自然の中でのスポーツなど、市民や民間事業者とともにコンビニエンスかつアクティビティーなまちづくりに取り組みます。

4 空き家対策、移住促進のための施策

- ◎戸建ての空き家をリフォームし、移住希望者に賃貸する民間事業者を支援します。
 - ・民間事業者を広く募集するとともに、賃貸物件に市外からの移住者が一定期間入居した場合は、事業者に対し礼金相当額の奨励金をお支払いいたします。



小野達也 後援会

〒414-0002 静岡県伊東市湯川 1-8-4

皆さまのご意見、ご要望をお聞かせください。皆さまの想いが形になります。

Tel.0557-36-2089 / Fax.36-2080

公式サイト www.ono-tatsuya.com/ E-mail ono-tatsuya@bird.ocn.ne.jp

